

# Kandai Style

2023.11 Vol.511  
関西大学通信



第46回 統一学園祭／  
後夜祭について語ろう



今年も学園祭の季節がやってきました！  
 約800名から成る関西大学統一学園祭実行委員会のメンバーが一丸となり、準備を進めています。  
 今年度の来場者目標数は大きく15万人。新しい企画も満載です。進化した学園祭を思い切り楽しみましょう！

今年のテーマは「**笑てんか**」

さいきどろ  
 昨年「祭起動」した学園祭を再び「点火」し、その火を絶やさずともし続けたいという思いをテーマに込めました。そして関大生や地域の皆さん、来場者の方々に**愛される学園祭**をつくり上げ、たくさんの人を笑顔にしたいという願いを「笑てんか」という関西独特の言葉で表現しました。本学の伝統的で意義ある学園祭を成功させ、「天下」を取ることを目指します！



### 統一学園祭実行委員より「愛される学園祭」への熱いメッセージ

常任委員会 庶務局  
 めくり ともや 巡 智也さん (法学部3年次生)

学生主体となる学園祭を通して「笑い」や「感動」、そして「熱気」をお届けします。また、中央ステージのバックには今年のテーマである「笑てんか」のデザインを全面的に描いていますので、ぜひご覧ください。その名の通り、皆さまに笑っていただき、元気をお届けします！

常任委員会 企画管理局  
 祭ステージ外主任  
 にしむら なごみ 西村 和さん (法学部2年次生)

関大に興味のある皆さんは、全13学部の催しや展示を見れば、それぞれの学部でどんなことを学べるのかを知ることができます。ヨーヨー釣りや迷路など、子ども向けの企画もあり、どの年代の方でも楽しめるイベントが盛りだくさんです。ぜひお待ちしております！

学園祭実行委員のスタッフジャンパー ▶



模擬店数は**200店舗**目標！  
 今年の出店数は昨年の約2倍、200店舗出店を目指します。皆さん、キャンパス内で食べ歩いて楽しみましょう！

## ステージ企画は**56**企画、教室企画は**46**企画と盛りだくさん！

セレモニーや音楽フェス、ダンスバトルなど目玉企画や、例年好評のお化け屋敷など、面白い企画が満載！

(10月12日現在)

### スペシャルゲストが登場！

- 関大生のパワーでステージをさらに盛り上げましょう！**
- トークショー**  
 @第2学舎BIGホール  
 11月3日(金)  
 開場12:00 / 開演13:00  
 ローランドさん(実業家)  
 11月5日(日)  
 開場12:00 / 開演13:00  
 アンミカさん(タレント)
- ライブ**  
 @中央体育館  
 11月4日(土)  
 開場13:30 / 開演14:30  
 清水翔太さん(アーティスト)



(写真は昨年度の統一学園祭より)

学生のエネルギーな姿でお祭りを盛り上げます！



統一学園祭実行委員長  
 もりべ ほまれ 守部 誉さん (商学部3年次生)  
 今年度は規模だけでなく、企画内容においてもチャレンジします。新しい企画で、これまで以上に来場者の方に「面白さ」や「幸せ」を提供できるような学園祭を目指していますので、ぜひ千里山キャンパスに足を運んでください！

詳細は、第46回 関西大学統一学園祭パンフレットおよび公式Instagramをご覧ください。





# 後夜祭について語ろう

1978年に統一学園祭がスタートしてから45年。

今年も11月2日から学園祭が開催されます。最終日に行われる後夜祭は学生生活の思い出に残る一大イベントであり、特に応援団においては4年間の学生生活で一番思い入れの強い演舞演奏の場として長年受け継がれています。

今月号の特集では、学生時代に関西大学応援団の団長を務めた2人の事務職員と現役生の団長が後夜祭での思い出や苦労したこと、そしてこれからの後夜祭について大いに語りました。

■ 座談会実施日：2023年7月20日 ■ 場所：千里山キャンパス関西大学会館

出席者 (写真左より)

第92代団長：黒澤花衣さん(2015年法学部卒業)  
第77代団長：藤田由典さん(2000年文学部卒業)  
第101代(現)団長：河口直生さん(法学部4年次生)

同ステージなどもあり、盛りだくさんでした。最後に花火を打ち上げていたのを覚えています。



1998 応援団の演舞演奏

藤田 ▶ パレードもそうですが時間も短くなりましたね。私の時は、16時に関大前駅近くの踏切から会場までパレードを行い、そこから後夜祭が始まりました。後夜祭は20時頃まで行われたので、約4時間の長丁場でした。

その間、学生部長(現学生センター所長)や学園祭実行委員長のあいさつがありました。応援団に長い時間を割いてもらっていたので、吹奏楽部やバトン・チアリーダー部単独のステージも設け、観客に盛り上がりしてもらいました。

河口 ▶ 今は、後夜祭での応援団のステージが短くなっており、全体で約1時間といったところです。総合図書館前から悠久の庭までのパレードをして学歌を歌った後は、3部合同ステージを行っています。

## ○ 後夜祭メモ (伝統行事)

応援団の伝統行事の一つである「キャンドル学歌」。キャンドルサービスの際に団旗を2本掲げ、学歌を斉唱する時は、最初は口笛で学歌を吹き、途中からはいつものように歌い出すという流れが応援団内で代々引き継がれている。

先輩の話を聞いて、現役の団長である河口さんに後夜祭のイメージをお聞きします。

河口 ▶ 私が1~2年次生の時はコロナ禍のため、事前に撮影した動画をYouTubeで流すという学園祭でした。昨年初めて対面での後夜祭を経験し、戸惑うことも多々ありましたが、この経験は必ず今年に役立ちますし、後輩に引き継いでいきたいと思っています。

## 引き継がれる伝統

後夜祭のプログラムも変わってきているようですが、例えば応援団の中で引き継がれているものはありますか。

河口 ▶ 応援団の名物で「キャンドル学歌」というものがあります。代々の団長から引き継いでいますので、私もこの伝統を守りたいと思っています。



2014 キャンドル学歌

黒澤 ▶ 私もキャンドル学歌の指揮を務めました。最初は全員で学歌を口笛で吹き、途中から「関西大学、関西大学、関西大学、長き歴史、自然の秀麗〜♪」と歌い出します。開始前のパレードは、私の頃は総合図書館前から悠久の庭まででした。後夜祭の時間は2時間程度で、プログラムには漫才があったり、ステージはにぎやかな雰囲気にもなっていました。応援団の演舞演奏の中には拍子物や各部ステージ、3部合

## 熱く燃えた学生時代

今回の対談テーマは、「後夜祭」です。学生時代の学園祭、そして後夜祭の雰囲気を教えてください。

藤田 ▶ 私の頃の後夜祭は、現在尚文館が建っている場所(旧第1グラウンド)で行われました。後夜祭は学園祭を締めくくるイベントで、4日間の打ち上げの雰囲気がありましたね。後夜祭で良い席を確保するために各クラブ、サークルの皆さんが前日から徹夜で並んでいて、翌朝開場した途端にスタンドがいっぱいになるほどの人気がありました。徹夜で並ぶ学生のために学園祭実行委員会で警備をするなど、今の学園祭では考えられませんか(笑)。

黒澤 ▶ 学園祭自体はキャンパス内にたくさんのお店が並んでいて、学生が自分たちでお祭りをつくり上げている雰囲気がありました。後夜祭の場所は2007年から現在の場所に変更されたので、私の時は悠久の庭で行いました。藤田さんの時代とは後夜祭の趣きが少し変わっていましたが、悠久の庭がスタンドから芝生までたくさんの人であふれかえっていました。学園祭の締めくくりということでみんなが盛り上がりを見ていると士気が高まりました。OBやOGの方もたくさん見に来てくださって、「関大愛」を強く感じる場でもありました。

プログラムを作成する上で注意したことはありますか。

藤田 ▶ そういえば、土のグラウンドで行われていた頃は、キャンプファイアのようにやぐらを組んで「KU」という文字をたき火で浮かび上がらせていました。このやぐらは1文字約

4m四方あり、制作のために工学部祭典実行委員会に設計してもらったことを覚えています。それと、キャンドルサービスではろうそくに火を付けて、その火を隣の人に移すなどいかに昭和的な感じでしたが、全員のろうそくに火がともると、スタンドは幻想的な雰囲気になり最高でしたよ。



1998 炎に包まれたKU

黒澤 ▶ キャンドルサービスは今も続いています。ろうそくは使っていません(笑)。代わりに棒の真ん中でカチッと折ると光るサイリウムを使っています。いつからろうそくを使わなくなったのか分かりませんが、ろうそくのキャンドルサービスも見てみたかったですね。

演舞演奏のプログラムを作成する際に注意したのは、曲目の順番や構成です。単に曲目を並べるだけでは何も伝わりません。演舞演奏にストーリーを込めて曲目や構成を考え、心に響く演舞演奏を目指しました。来る日も来る日も練習を重ね、応援団全員で全身全霊をかけて演舞演奏を行いました。当時は大変でしたが、今となっては良い思い出です。

## ○ 後夜祭メモ (開催場所)

1998年まで現在の尚文館辺り(旧第1グラウンド)に円形スタンドがあり、1万人を超える大勢の学生が詰め掛けた。1999年から第4グラウンド(現在の中央グラウンド)に変更。2007年からは悠久の庭で行われている。

## これからの後夜祭に期待

これまで皆さんの学生時代のお話を伺いましたが、これからの後夜祭に望むことはどのようなことですか。

藤田 ▶ 後夜祭のプログラムは少しずつ変わってきていますが、関大生の打ち上げの場であるという趣旨は変わらないでほしいですね。これまで皆さんの話を聞いていますと、時代とともに後夜祭の趣きが変化してきているように見受けられますが、やはり後夜祭は学園祭を締めくくる一大イベントであり、全学生が一体となって盛り上がる場であることに違いはありません。良き伝統はこのまま続けてほしいと思います。



1999 藤田団長を先頭にパレード

黒澤 ▶ 後夜祭では、学歌や応援歌などの関大の歌を、集まっている人全員が大声で歌えたら良いですね。友人や仲間とのつながりを一層感じ、母校愛を深めることができると思います。また、後夜祭は卒業後何年経っても卒業生が集える場でもあり続けてほしいです。

## 座談会を終えて

それぞれの時代において後夜祭は盛り上がりを見せてきましたが、時の流れとともに場所が変わり、プログラムも変わってきています。皆さんの話から、後夜祭は学生だけでなく、卒業生も気軽に集い、参加者全員が母校愛を確かめることができるイベントであってほしいと感じました。

学生の自主自治活動で最大のイベントである学園祭を締めくくる後夜祭。現役の河口団長が話していたように、ステージ上は応援団だけのものではありません。学園祭実行委員会と協力して運営の中で、応援団の存在がなお一層輝くように演舞演奏を披露して、これからも後夜祭の盛り上がりに一役買ってほしいと思った次第です。



2014 学生時代の黒澤さん

河口 ▶ 応援団だけでなく、学園祭実行委員会との協働で運営しているのが、現在の後夜祭の姿です。藤田さんの頃より応援団の持ち時間が少なくなっていますが、関大生同士のつながりは生まれていると思います。

現在は多様化の時代を迎えていますので、学生同士の話し合いでもさまざまな意見、考えがあります。その中で、私たち応援団のニーズを高め、ステージでもっと演舞演奏を披露してほしい、と言ってもらえるような存在でありたいと思っていますし、そのような行動を心掛けたいと考えています。



昨年の後夜祭



地方公務員／警察官



## 大阪府警で働く関大人

(要請により、お名前は差し控えます)

大阪桐蔭高等学校出身  
2021年社会安全学部卒業

### 関大での学びとバスケが自分のベース 安全・安心な暮らしを守る警察官に

大阪府警察に勤務する卒業生は、「関大のバスケットボール部で、尊敬していた3人の先輩が警察官になり“カッコイイ仕事”という憧れを持ちました」と志望動機を話します。警察官採用面接では、社会安全学部を専攻している点をアピールし、無事警察官を拝命。採用者は全寮制の警察学校に入学し、法律や警察官としての基礎知識などを学びますが、中学校から大学までバスケ漬けだったため「きついと聞いていた警察学校も、部活で培った体力と協調性のおかげで前向きに順応できました」と明るく振り返ります。

交番では管轄地域の巡回や取り締まり、事件や事故の対応を行い、初仕事は担当管内を一軒一軒訪問する巡回連絡でした。「私の担当する地域は高齢の方が多く、私が訪問すると喜ばれます。巡回時にお渡ししている“特殊詐欺撲滅シール”は実際に特殊詐欺を防いだことのあるアイテムで、安心を届けている手応えを感じました」と1年目を思い出します。今年で3年目を迎え、地域住民の安全を担う警察官としてさらに責任感を持って職務に励んでおり、「制服を着た警察官への信頼と、事件・事故の抑止力は大きなもの。法律と良心に基づいて世の中の安全に寄与できる仕事です」と誇りを持って語ります。

関大では社会安全学部の群集安全学をテーマとするゼミに所属。コンピュータープログラムを使い、駅改札での人の動きについて研究しました。「職務中に防犯対策を考えることも多く、大学で学んだ安全に関する多角的な視点は私の強みです。交番内の会議で意見や提案を出すこともあります」と、学びを生かして仕事に貢献する様子を話しました。

今後は、起こり得る事件・事故を先読みして対処する力を身に付けることと、業務に関わる資格を取得するという目標を持っています。最後に「警察は多様な人材を求めています。最近ではITや語学などのスキルを生かしたエントリーも増えています。世の中の安全・安心への貢献に関心がある人は、ぜひ私に続いてほしいと思います」と、関大生へ期待を込めて呼び掛けました。

ある1日のスケジュール  
※24時間勤務の場合

9:00 朝礼、交番へ移動  
パトロール、  
来訪者対応、  
巡回連絡、  
休憩、交通取締、  
職務質問、  
少年補導、  
專案対応等  
翌10:00 業務引継、勤務終了



必須アイテムは、詳細な地図、時計、記録と書類作成のための紙・ボールペン・印鑑・朱肉、そして光量の多い懐中電灯(2万ルーメン)です。

# Police Officer





## 「卒業演習1」

クリス・ラモンダ教授

### 「英語の教科書を作る」プロジェクトを通して

チームプレーに必要な協調性と成果を上げるスキルを身に付ける

クリス・ラモンダ教授のゼミでは、英語を学ぶ人に向けた「英語の教科書を作る」プロジェクトに取り組んでいます。言語学学習の指導カリキュラムを組み立てる知識を身に付けるとともに、スタディ・アプロード・プログラム<sup>※</sup>で学んだ第二言語の習得および言語研究を深めます。さらにチームで1つの成果を作り上げることで、協調性を身に付けることを目指します。

ゼミでのコミュニケーションは英語を使用。最初の学期はラモンダ教授の指導とグループディスカッションを通して、学習者に合わせたカリキュラム作成の基本を学びます。テーマやアイデアについて話し合い、ゼミのメンバーの意見に耳を傾けるだけでなく自分の意思を表現することが必要です。期限内に完成させるためには時間管理も重要です。

第二学期には作成した教材を用い、ゼミのメンバーが教師と生徒の役になって模擬授業を行いながら教材について考察します。ラモンダ教授は、「使っている単語はターゲットに適切か、例題の背景設定は学習を促す内容か。さまざまな角度でメンバーと私からフィードバックを受けて改善することを繰り返します」と話します。最後に目次や装丁を整え、ようやくオリジナルの教科書が完成を迎えます。完成した教科書は卒業論文のベースとなるだけでなく、世界中の誰でも自由に利用できるようウェブサイトに公開するため、ゼミ生たちは自分が作った教材が世の中で役立つ喜びを実感できるそうです。

「一般的な英語の教科書は試験対策に焦点が当てられ、実用的なコミュニケーションの教材として物足りなさを感じることがあります。このゼミでの学びが、日本における言語教育カリキュラムの向上に役立つことを願っています」と語るラモンダ教授。最後に「1冊の教科書を作り上げる過程は、プロフェッショナルとして英語教育に関わろうとしている人にとって実践的な学びとなります。企業で語学力を生かしたい人には、ここでのチームでプロジェクトを完成させるスキルが有益です。ゼミでの学びを、あなたの望むキャリアに生かしてほしいと思います」と締めくくりました。

※2年次に海外の提携大学へ約1年間の留学を行うプログラム。



鈴木愛未さん(4年次生)

ラモンダ教授のゼミは卒業演習で実用的な物を作り上げることができる唯一のゼミで、私は食べ物のユニットを担当しています。先生はユーモアを交えて指導して下さるので、よく笑い声が上がります。また先生はネイティブスピーカーなので授業は英語で行われ、留学からの帰国後に英語を実践する貴重な機会になっています。将来は英語を学ぶきっかけづくりやサポートに関連する仕事に就きたいと思っています。



藤元里沙さん(4年次生)

英語教育に興味があり、教材開発がテーマであるこのゼミを選びました。私は美容に関するユニットの担当で、理想の顔を作るアクティビティを考えました。教科書はゼミ生全員で力を合わせて完成させるので、英語で自分の意見を伝える力がついたと思います。将来はゼミでの学びを生かし、楽しく語学を学べる教材開発などに携わりたいと思っています。



# 関西大学応援団が掲げる「千成瓢箪」<sup>せん なり びょう たん</sup>

2022年に創設100周年を迎えた関西大学応援団。1922年に大学予科の生徒が中心となって結成され、創設当時は、予科生の全員参加が前提だったようです。その応援団の旗印であるのが、「団旗」であり、「千成瓢箪」と言われています。

今回のなるほど・ザ・関大では、その千成瓢箪のいわれから、現在に至るまでを調べてみました。



▲ 初代の千成瓢箪

## 戦地のお守りになった初代千成瓢箪

初代千成瓢箪の製作年度ははっきりとは分かりませんが、応援団関係者の話を総合すると、1933~34年頃には製作されていました。費用は100円(現在では80~100万円に相当)。高さは2間余(約4m)、重さは28貫(105kg)で、50の小さな瓢箪を下げ20枚の青色革の垂れを付けた見事な形様でした。相撲や野球の試合では2~3人が担いで応援しなければならぬほどで、パレードでは遠目からでも目立つ大きさであったことから、千成瓢箪は、関西大学応援団が大いに名をはせるきっかけになったと言っても過言ではありません。戦時中は、戦地に行く学生がお守りや記念にと、瓢箪も革の垂れも何cmずつかに切り取られて散り散りになっています。

## 名称の由縁は太閤秀吉の瓢箪から

大正時代まで、応援する時は「矛」を使っていた応援団が、なぜ昭和になって千成瓢箪を作ったのか調べてみましょう。『関西大学応援団史』によれば、太閤である豊臣秀吉が「羽柴」を名乗り始めた頃から千成瓢箪を馬印として使い、勝利の度に瓢箪を増やしていきました。つまり、無数の瓢箪、すなわち「千成瓢箪」が数限りなく勝つ、無数に勝ち星を得ることを指しています。このことから、当時の応援団は、天下を治めた太閤さんにあやかって千成瓢箪を作ったといわれています。

## 豊國神社で入魂式を挙行了した四代目

その後、二代目は1952年の応援団30周年を記念して当時の現役生が作り、三代目は20年後の50周年時にOB・OG会である千成会より寄贈されています。そして装いも新たに四代目が新調されたのが2007年のこと。この年の4月5日に、「千成瓢箪」にゆかりのある豊臣秀吉公が祭られている豊國神社において入魂式が行われました。当日は、大阪城大手門から神社まで団旗を先頭にパレードをし、全員で本殿に鎮座している千成瓢箪の祈禱を済ませ、「学歌」「千陵拍子」の奉納演舞を披露しました。外国人観光客を含めた皆さんが興味深げにカメラに収めるなど、四代目の千成瓢箪は華々しいスタートを切りました。今後とも関西大学応援団が掲げる「千成瓢箪」にご注目ください。



▲ 応援時の千成瓢箪



▲ 2007年4月に行われた第四代千成瓢箪の入魂式





経済学部 3年次生

# 近藤 ひなみ さん

周りの温かい目に気付いた学園祭実行委員会の活動  
将来もチームで人のために何かをつくり上げていきたい

関西大学統一学園祭実行委員会(以下、祭実という)は、約800人の有志が集まった8つの局に分かれて、それぞれの役割を果たしています。近藤ひなみさんはパンフレット局の副局長として、学園祭のパンフレットに関する協賛企業の取りまとめをはじめ、他局との連携や後輩の指導に力を注いでいます。

大学に入学した時は新型コロナウイルスの感染防止のため遠隔授業がほとんどで、キャンパスライフを実感し難い時期でした。近藤さんは新入生歓迎行事で祭実を知り、大学公認団体として多彩な経験ができることに魅力を感じて入会。配属されたパンフレット局では、最初は先輩の指示通りに動くのがやっとでしたが、2年次生でデザイン班副班長となり、協賛企業との連絡、パンフレット制作の日程管理まで担うことになります。「パンフレットが無事に完成することが、協賛企業との信頼関係に直結するため、何事にも慎重になりますし、取りまとめが大変でした。今までで一番濃い時間を過ごしたような気がします」と話します。その中で協賛企業の方から「昨年は緊張していたけど、今年は後輩を指導していて成長したね」と声を掛けてもらい、私たち関大生を優しく見守ってくれていることに気付いたそうです。

学部では地域経済学のゼミに所属。「昨年は学園祭の繁忙期とゼミを選択する時期が重なりましたので、注力するものを絞り、時間の使い方を工夫して乗り切ることができました」と近藤さん。祭実は3年次生で終わるため、まずは学園祭に集中し、その後就職活動をスタートさせる予定だそうです。将来は「祭実の経験を生かしてチームで何かをつくり上げるような仕事をしたいです。企画やマーケティングに興味があります」と話します。

近藤さんは最後に、「統一学園祭という大きなイベントを仲間とつくり上げる感動は他では味わえません。将来に役立つ経験も、学生らしい青春も味わえる素敵な組織です。皆さんも学生時代を振り返って、良い経験になったと思えることを見つけてほしいです」と、自身の経験の素晴らしさを語りました。



2022年度パンフレット局のみんなと

今回は、近藤さんからのご紹介で中島康裕さん(経済学部3年次生)が登場。お楽しみに!



# Hinami Kondo



# 学部・研究科・併設校トピックス

## 法学部 / 法学研究科

### 綺麗でなくても丁寧に

授業期間終了後にも教員にとっては採点という試練が待ち受けています。特に採点基準で悩みます。「これは80点かな?いやこれを80点にすれば前の何人かも80点以上にしなければならぬのではないか?では前に戻ってやり直しだ!」ということの繰り返し。

今期非常に残念だったのは、たくさん書いているのに、あまりに字が乱雑で判読不可能なため、低い点数をつけざるを得なかった答案が目立ったことです。自戒の念を込めて、字は綺麗でなくとも相手に伝わるようにと気持ちを込めて丁寧に書きましょう。(教学主任 河村厚教授)

## 文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

### 本の読み方

読書の秋。皆さん、本を読んでいますか。読書といっても、本の読み方はいろいろです。多読、精読、積読(これも?)など。最近、ウェブ上にブックレビューがあふれているためか、1冊を最初から最後まで読むことが少なくなつたと感じます。実は私自身もそうです。

けれど、自分で通読して、初めて気付くこともあります。それが卒業論文のテーマにつながるかもしれません。ゼミの先生にお薦めの本を尋ねてみるのもよいでしょう。この秋、皆さんがお気に入りの1冊に出会うことを願っています。(学生主任 官田光史准教授)

## 経済学部 / 経済学研究科

### ゼミ募集の開始

経済学部では次年度3年次生のゼミナール(経済学演習)の募集が始まっています。ゼミナールは経済学部の教育の重要な柱であり、2年間少人数で各教員の専門分野などについて研究を深め、大学での学びの集大成として卒業論文の執筆も行われます。さまざまな課外の活動も行われるゼミナールは、勉強だけにとどまらない得難い経験となるでしょう。希望のゼミに入ることができるよう、ガイダンスやゼミ見学に参加し、先生にも話を聴きに行くなど、しっかり準備をすることが大切です。

(学部学生相談室 北原 聡教授)

各学部・研究科・併設校のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

## 商学部 / 商学研究科

### TASプログラム、やっています

商学研究科のTASプログラムは、税理士の資格取得の支援、税務の学際的(法学・経済学・会計学)学習、税理士法人などでのインターンシップが特徴です。

12月ごろには、このプログラムの宣伝も兼ねて、税務のセミナーも開催(公開)しています。税理士試験の科目合格者には、入試で試験の専門科目の免除もあります。税務を極めたい方の入学をお待ちしています。一緒に学びましょう。ホームページもあります。(石田和之教授)

TASプログラムのウェブサイト▶



## 社会学部 / 社会学研究科

### ゼミ選択で熟考中!

社会学部では、現在2年次生の学生たちがゼミ選択とゼミ志望届の提出に向けた準備をしています。3年次生になるとゼミごとに専門的な学びを行っていきますが、おおよそ20人前後が1人の先生のゼミの配属になります。

ゼミの形態は、実践型の学びをするゼミ、フィールドワークが多いゼミ、論文を精読するゼミ、自主研究に力を入れるゼミなどさまざまです。2年次生の方々は目下、自分のやりたいことや適性、将来のことも鑑みながらゼミ選択で熟考中です。納得のいくゼミ選択ができることを願っています。

(学部学生相談室 土屋敦教授)

## 政策創造学部 / ガバナンス研究科

### Smells of the Wind

皆さんは、3カ月前の出来事を覚えていますか。世間を騒がせたニュースは何か、気温がどれくらいであったのか、今年のWimbledonは誰が勝ったのか、中日ドラゴンズの順位が何位であったか、などなど。スマートフォンで膨大な情報を浴び続けていると、アレもコレもいつのことだったのか、1カ月前のことですらあやふやになりますよね。時にはスマートフォンの電源を切って、自分と向き合う一日にはいかがですか。私も今ごろは風の匂いを感じる日を過ごしているはず、という思いを込めて。

(杉浦勉准教授)

## 外国語学部 / 外国語教育学研究科

### 言葉と文化

11月はアメリカでは感謝祭、日本では勤労感謝の日が訪れます。感謝の心をどのように表現するかは国や文化によって異なるものの、その根底に流れる感謝の心は普遍的なものです。個人のスタイルもあるでしょうが、感謝の形は文化的な要素に大いに影響されています。

例えば、「謝る」という行為も、国や文化によって微妙な違いがあるfascinatingな事実です。これらの違いを深く理解するには社会言語学という分野が研究の窓口となります。興味があればこの機会にぜひ学びの一步を踏み出してみてください。(植木美千子准教授)

## 人間健康学部 / 人間健康研究科

### 人間健康学部の「場づくり」

9月3日に堺キャンパスで「堺区子ども音楽フェス2023」が開催されました。コロナ禍で発表の機会が限られていた小中学校等の生徒のために堺区役所が主催したイベントです。これに人間健康学部が全面協力、学生が実行委員会を組織し模擬店や体験コーナーを出店して盛り上げました。区職員からは「演奏で緊張していた子どもたちが皆さんのお店にうれしそうに行き、楽しそうに帰っていきました」とのお言葉を頂きました。良き思い出や幸せな体験は人生の宝物です。このようにして人間「健康」学部の学生たちは、ごく自然に幸せな「場づくり」に関わることができるようになっていくのです。(安田忠典教授)

## 総合情報学部 / 総合情報学研究科

### 文部科学省MDASHの認定

総合情報学部が申請していた「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」が、文部科学省から認定されました。

本プログラムは、すべて必修科目で構成されているため、本学部を卒業すれば、自動的にこれを修了したことになります。本学部開設以来行ってきた教育が、今まさに求められる時代になってきたと言えます。数理・データサイエンス・AIを活用して課題を解決するための実践的な能力を育み、社会で活躍することを期待します。

(学部長 名取良太教授)

## 社会安全学部 / 社会安全研究科

### 公開講座に来てみませんか?

社会安全学部では、地域住民に有益な情報を提供しようと、毎年春と秋に高槻市と高槻商工会議所の後援の下、高槻ミュージックキャンパス公開講座を開催しています。

関西大学在学学生であれば、無料で受講することができます。学部HPから申し込みができますので、参加してみませんか?

(河野和宏准教授)



## 法科大学院

### 令和5年司法試験について

本法科大学院から令和5年司法試験を受験した者のうち、37人(67.27%)が短答式試験に合格しました。秋の論文式試験の合格発表後には、合格体験報告会や合格者祝賀会を開催する予定です。本法科大学院は、司法試験合格までのサポートのみならず、修了後の就職支援活動にも力を入れており、就職支援委員会と関大法曹会による強力なバックアップ体制を整えています。在学生や修了生のさらなる飛躍に向け、本法科大学院は引き続き正課外講座にも力を入れ、積極的な教育改革に取り組んでいます。

(入試主任 佐川友佳子教授)

## 関西大学中等部・高等部

### 4年ぶりの中高合同体育祭



5月2日、第14回中等部・高等部体育祭を実施しました。ようやくコロナ禍を抜け、4年ぶりに中高合同で競技をすることができませんでした。中1から高3までの全生徒が互いに応援し合い、全力で競技する素晴らしい一日となりました。

(中等部教頭 萬田行治教諭)

## システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

### 未来のイノベーターをほうふつ

イノベーション創生センターが企画・運営する文理融合のビジネスアイデアコンテストSFinX(Sciences Fusion in X)最終報告会に審査委員として参加しました。本コンテストは、2018年度から毎年度開催されており、本学理工系学部の先生方から研究されている技術をビジネスシーズとして提供していただき、文系・理系の学生がこのシーズの事業化に向けてビジネスアイデアを考えて、そのアイデアの有用性や可能性をビジネスピッチして競うコンテストです。今年度は14チームの参加がありました。各チームは

約4カ月間の調査活動の成果を5分間に凝縮してプレゼンを行いました。どのチームのプレゼンも大変クオリティーが高く、また訴求力も非常に高かったです。また、そのアイデアも大変興味深く、特に社会問題を解決するためのビジネスモデルの提案が多くあり、学生諸君の現在社会への意識の高さが感じられました。

現在、多くの日本企業は実績主義をベースとしており、欧米企業と比較するとビジネスイノベーションが起こりにくい風土になっています。そのため、最近では多様な領域で遅れや停滞が

顕在化してきています。このような状況を打開するために、新しい価値を創造する次世代の実業家が求められています。SFinXの14チームは、社会が求める次世代の実業家をほうふつさせるものでした。

SFinX最終報告会に参加して、参加14チームに限らず、また文系・理系にかかわらず、学生諸君には、現状の日本を変革し、進むべき新たな道をフロンティアとして開拓する人材へと育てほしいという思いを新たにしました。

(環境都市工学部 滝沢泰久教授)

## 教育推進部

### 優れた学び手になってほしい

問いと答えをセットで記憶していた高校時代とは異なり、大学では教師から与えられた問いに対する答えを探す場面があります。しかし、そこで待っているのは教師があらかじめ設定した答えに過ぎません。与えられた問いに対する答えを探すだけでなく、誰も立てたことのない問いを立てる者こそが、優れた学び手です。教育推進部ではそのような学び手を目指すプロジェクト学習の科目を用意しています。限りある学生時代にぜひとも自ら問いを立てる経験を積み重ねてほしいと願っています。

(三浦真琴教授)

## Attention 大学からの重要なお知らせ

### SDGsキャンパスサポーターになりませんか

SDGsに興味はあるけど取り組み方が分からない…。そんなあなた!私たち「関西大学SDGsキャンパスサポーター」と一緒にSDGsの活動に取り組みませんか。

私たちの活動は不定期で、SDGsに対してさまざまな思いを持った仲間と共に日々サステナブルな未来に向けて活動を行っています。

最近では、中高生に向けてSDGsをもっと知ってもらうためのワークショップやクイズ大会を実施しました。これらイベントの企画・運営は学生主導で行いますので、SDGsの実践活動を通じて、企画力、資料作成力および発表力を身に付けることができます。また、このようなイベントを実施できる背景には、職員の皆さんのサポートがあり、企業や学校と協働してSDGsの達成に取り組める貴重な機会を提供いただけます。

学部・学年を問わず、新規メンバーを募集していますので、私たちのSDGs推進活動に関心のある方はぜひ公式InstagramからDMにてお問い合わせください!

関西大学  
SDGsキャンパスサポーター  
公式Instagram(@kandai\_sdgs)  
https://www.instagram.com/kandai\_sdgs/?hl=ja





## 関大トピックス



## 大阪・関西万博がより楽しくなるイベントを開催！

2025大阪・関西万博に向けた本学独自のイベント「関大万博Weeks」のイベントがいよいよ始まります。このイベントは、関大生の皆さんに万博をより身近に感じてもらい、万博に関わるという唯一無二の経験をしてほしいという思いから企画されたものです。

第1弾として、11月下旬の「SDGsWeeks」※1および12月10日の「まちFUNまつり」※2にて、万博事業で連携する企業とのコラボ企画を実施します。内容は、誰もが輝ける未来社会の実現に向けて、社会課題の解決に挑む企業の技術を体験できるもの。最新型ミシンでレザーや端切れを活用した小物作りに挑戦したり、バーチャルレーシングゲームを通じてプログラミングを学んだり多彩なコンテンツを用意しています。

2025年の「関大万博Weeks」本番に向けて、万博会場で振る舞われる予定の非常食弁当や、ハラル食やヴィーガンなどのメニューを提供する「関大EXPO食堂」をはじめ、「新旧大阪万博歴史展」「世界各国の文化体験交流」「みんなの未来デザインコンペ」などワクワクする企画が進行中です。

※1 SDGsWeeks：SDGsの理解促進等を目的に、SDGsを実践するために必要な「実践知」を磨くプログラムを提供する法政大学との協働イベント。

※2 まちFUNまつり：NPO法人関西大学カイザーズクラブなどが地域の子どもたちを主な対象に、スポーツ・文化・学びの体験コンテンツを提供するイベント。

関大版  
万博  
関大万博Weeks

2025万博にむけて、2023からイベント実施！

## 関大万博Weeksとは

関西大学が、大阪・関西万博の「大阪ヘルスケアパビリオン」に出展する前後の数週間を「関大万博Weeks」と銘打ち、バーチャル空間や大学キャンパスから発信やイベントを行う「関大版万博」のこと。



## スルッとKANSAI制作のカレンダーに本学学生が協力しました！

10月1日に発売された「2024年スルッとKANSAI電車&バスカレンダー」の表紙と中面デザインに、本学のマス・コミュニケーション学研究部と鉄道研究会の部員が制作に携わりました。

デザインを担当した中戸詩織さん(マスコミ研・文3)と上野颯亜さん(鉄道研・文4)は「関西を中心とした電車やバスの写真を使い、また優しさを感じられる色合いを使用することで車体そのものだけでなく、沿線地域の魅力が伝わるようなデザインを心掛けました。各地の景色や日本の四季、その魅力に寄り添うスルッとKANSAIを意識したデザインになっていると思います。このカレンダーから、関西や岡山などの各地に電車やバスで訪ねてみたい」と感じてもらえるとうれしいです」とコメントしました。

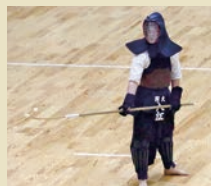
カレンダーは一部駅の窓口や、書店、公式オンラインショップで販売しています。数量限定のためぜひお早めにお買い求めください！



## 全日本学生なぎなた選手権で入江晃太さんが3連覇、森本あか音さんは準優勝

8月6日に全日本学生なぎなた選手権大会が開催され、男子個人競技で入江晃太さん(化3=写真左)が優勝しました。この大会3連覇がかかっていた入江さんは着実に勝ち進み、決勝戦でも一本を決めて見事3連覇を達成。

また女子個人競技では森本あか音さん(人3=写真右)が決勝戦で惜しくも敗れ準優勝となりました。



(写真提供はいずれも関大スポーツ編集局)

## 関大人 四方山話 ◆ 育児休暇を経て

よもやまばなし

ながやま だいすけ  
堺キャンパス事務室 永山 大輔



私は長男が生まれてから半年ほど、育児休暇を取得しました。育児休暇中、長男の育児だけではなく、炊事、洗濯、掃除、長女(姉)の幼稚園や習い事の送迎等、多くの家事を妻と分担しました。妻は、これらのマルチタスクに対して、はるかに私よりも効率よく対応しており、驚く日々でした。育児休暇を終えて、妻はワンオペにてこれらの家事・育児を行っています。家の室温が快適かどうか、長女の体調が優れない時に幼稚園を休ませるかどうかなど、育児休暇中はその都度話し合っていたのですが、全て任せきりになってしまっていること

に、申し訳なさを感じています。

私は、育児休暇は取得期間中よりも、休暇後の心遣いが大切であると気が付きました。今の私にできることは、なるべく早く家に帰る、そしてこれ以上妻を慰勞し、長女と長男を楽しませながら家族と共に休日過ごすことだと考えています。

昨今、男性の育児休暇取得率が低いことが社会の課題とされていますが、ぜひ、学生の皆さんもライフプランを考える際には育児休暇を取ることも選択肢に入れてみてはいかがでしょうか。

## 編集後記

「シンクさんアクトくん」には統一学園祭実行委員の方が登場しました。各学部には実行委員会があり、経済学部でも春学期に準備委員のメンバー(学生有志)が委員会発足のために署名集めをします。私の講義では受講生150人を前に、メンバーが今年度の学園祭の構想を朗々と熱心に説明し、署名を集めていました。その熱意に触れて、私も気持ちを込めて一日の授業を行うことができました。学園祭関係者の意気込みや姿勢が、私の時のように相手の気持ちを動かして、笑顔あふれる学園祭になることを願っています。(広報委員・経済学部准教授 北川巨太)



## 関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2023年11月1日

発行:関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話:06-6368-1121(大代表)

感染拡大予防策を講じた上で、取材や制作を行っています。

## 今月の表紙

今月の表紙は、1998年まで千里山キャンパスの第1グラウンド(現在の尚文館辺り)で行われていた後夜祭の様子です。博物館の前にあった円形のスタンドは学生で埋め尽くされ、キャンドルサービスの火が幻想的な雰囲気を作り出しています。